

みんなの目・芽・めっ No.108 2020年/3月

発行 特定非営利活動法人住みよいあさくらをめざす風おこしの会 理事長 星野洋子 事務局 大石 ☎ 0946-42-4790

第29回風おこしフォーラム開催 防災の輪を広げよう！ ～もしもに備える いつも～

日時 2020年2月11日(火・祝) 13時30分～
会場 朝倉地域生涯学習センター
講師 柳原志保さん・拓巳さん(親子 熊本県和水町在住)

朝倉市長をはじめ、筑紫野市や大刀洗町からも参加があり、参加者は全部で70余人。朝倉市・筑前町・東峰村や朝倉市社会福祉協議会のほか、朝倉市小学校PTA連合会・朝倉市中学校PTA連合会の後援もあり、例年になく40代50代の参加が多く、男性の姿も多く見受けられました。東日本大震災と熊本地震と大災害を二度も体験し、それでも明るく防災を次世代に語り継いでいこうと一生懸命の志保さんと、中学2年生で防災士の資格をもつ拓巳さんの、親子で語られる話には、多くの人が、今日帰ったらすぐに家庭で話題にしよう、我が家の防災リュックを点検しようと思われたようでした。

来賓あいさつの中で朝倉市長から、現段階での「防災・復興と男女共同参画に関する朝倉市の取り組み」について話していただきました。

続いての講演では、親子で被災後の様子や思いを語りながら、防災の要点をわかりやすく話していただきました。



来賓あいさつをされる林朝倉市長



仲良く親子で講演の柳原志保さん・拓巳さん

講演内容

暮らしの中で 誰でもできる 無理のない防災

* 情報は命綱 情報の選択肢を持つ

ラジオやスマホ、テレビ、防災無線、新聞、防災アプリなどあるが、頼れるツールを複数持ち、選択できるように準備しておく。(次ページへ)

***コミュニケーションは自分から
つながる安心が力になる**

日ごろのつながりが大切。

コミュニケーション力を高める。

***災害時だから仕方がないは間違い
災害時こそ普段と同じ環境を**

避難生活の疲労からの関連死を防ごう

避難所をよくする T(トイレ) K(キッチン) B(ベッド)。



ありあわせのレジ袋と新聞紙でトイレを作る方法を説明される柳原志保さんと拓巳さん

アンケートより

**講演はいかがでしたか 大変良かった 25 よかった 4 無答 3
感想(抜粋)**

- コミュニケーションを地域の人たちととっていきたいと思う。地域のつながりに必要な若い世代のかかわりがより強くなるのが期待できる講演でした。
- 防災リュックの中身を今日は点検したいと思います。 さっそく避難用具をそろえたいと思う。
- 親子の活動に感激しました。中学 2 年生の息子さんの年齢(年代)で取り組んであることはとても素晴らしい。
- 子供にも伝えたいと思います。 地域の皆さんに伝えつなげたいと思います。
- 選択肢をいろいろと持つこと、気づかせてもらった。
- 前もって前もってが大事ですね。 本当に身近でいつでも今日からできることを教えていただきました。 日々の備えが大切。
- 日頃から災害にあったことの反省から備えをしているつもりでしたが、心の準備ができていませんでした。 ものと心の準備に気づかされました。 帰って点検いたします。 日ごろの生活が防災につながる暮らしにしていきます。

なお、今回の企画や今後取り上げてほしいこととして、「人権の問題をテーマにしてください」「障がいを持った人たちがいたのかどうか少しでも聞きたかったです」「防災グッズを持ち寄り、自宅にあるものでよいかどうかチェックしあうことを一度してみたい」などのご意見もいただきました。 (森部 佐和子)



「あすぼる」からインタビューを受けました

フォーラム終了後、福岡県男女共同参画センター「あすぼる」からの取材を受けました。『地域で活躍している団体の紹介を HP に掲載する』ことになったので、活動の詳細を確認しておきたいということでした。実行委員の 8 人が対応し、男女共同参画の地域づくりや、防災の重要性に関する活動について具体的に説明しました。 (森部 佐和子)

地域が繋がる、人がつながる あすぼる大交流会

日時：2020年2月16日（日）

会場：西鉄イン福岡 2階大ホール

実に102名の参加者で文字通り大交流会が開催されました。風おこしの会からは星野が代表して参加。会員の内山さんは翼の会から、中嶋さんは元館長として参加されていました。

開会、趣旨説明の後、待ちに待った4つの選ばれた取組団体の活動紹介です。

- ①**広川町** 行政と地域団体協働の事例として「ひろかわまちじょ」の取り組み。
- ②**一般社団法人「ママトコラボ」**（糸島市）行政と地域団体が協働で実施した「ママライター講座」の取り組み。
- ③**ネットワーク春日「元気塾」**での学びを県内各地域の発信につなげた事例。
- ④**かたつてつないで**（太宰府市）「子育てと政治を繋ぐ」をテーマに子育て中の若い世代が中心となって活動している事例。

1団体5分の持ち時間を有効に使い、それぞれが特徴的なインパクトのある事例ばかりで刺激的。多くの団体が元気塾その後から発展した取り組み事例であり、「地域の実情に応じた身近な課題に主体的に取り組むことが必要」「行政と地域団体との協働にはどんなやり方があるのか」とまさに大交流会のねらい通りの展開が生まれていました。

後半は、自由に飲み物や軽食を取りながら、希望する行政と団体が1分間で活動を紹介する「PRタイム」があり、会場後方には行政・団体の紹介コーナーもあり、その紹介資料を手にとったり名刺交換をしたり話し込んだりと、にぎやかで熱気あふれる何ともパワフルな交流会でした。私はこの盛り上がりにも明るい前途を感じ、気持ちも新たに帰途につきました。（星野洋子）



情報

4月1日より 名称変更 「朝倉市女性センター」 から 「朝倉市男女共同参画センターあすみん」へ

朝倉市にもついに「男女共同参画センター」が誕生します。名称変更に伴いDV等相談窓口が新設されるなど、市の男女共同参画推進拠点としての活動が期待されています。

筑前町男女共同参画センター「リフレ」 令和2年度講座開講式

日時 2020年4月25日（土） 10時～12時

会場 筑前町男女共同参画センター 2階ホール

開講式後「ゴスペルミニコンサート」があります(12時終了予定)

風おこしの会QRコード
ホームページ フェイスブック



内閣府男女共同参画局 ヒアリングのため来訪

「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組に関する実践的調査研究業務」ヒアリング

日時 1月14日(火) 15時15分～17時10分

場所 朝倉市役所4階委員会室

出席者 ○ 内閣府男女共同参画局総務課 井出 美香

アイ・シー・ネット株式会社 小林 花 (研究業務事業受託機関)

○ 風おこしの会 4名

目的 内閣府が平成25年5月に作成した「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を、策定後に発生した災害における新たな取組、同指針策定以前に発生した災害からの復興における取組等から新たな知見を反映させたものへ、見直し・改定等を行うためのヒアリング

風おこしの会からは、現在の指針の利用について、また風おこしフォーラムや出前講座や元気塾など災害後の風おこしの会としての活動について説明しました。

来訪者のお二人から、風おこしの会の活動は、様々な場を設定し様々な人を対象とした活動であり、大いに感心したとのご感想をいただきました。

(森部 佐和子)



風の音

光照寺は約五百年の歴史があり、格天井図(百枚の

絵画)の本堂に入ると日頃の喧騒を忘れ別世界へいざなわれる、私にとっては心落ち着ける場所です。仏教婦人会とご縁で京都本山、福岡教堂、夜須組二十二寺へ参拝し法話を聴き、わが身を振り返る良い機会と感じています。

最初は、寺の行事(法要・掃除など)で男性は表の役、女性は裏方との古いしきたりに驚くばかりでした。風おこしの会で性別に拘らず出来る人がお互いに協力していくと考えて活動してきた自分にはお寺の雰囲気は合わないのではないかと悩みました。ある時、外窓掃除が女性には無理と思いきや男性にお願いしたところ快く受けて貰いました。その後は男性の方から何かありますかと声掛けられる様になり助かっています。これからも、お寺の歴史・ご縁を大切にしながら少しずつ新しい風を入れていきたいと思っております。

(石井 正子)



編集後記

本年度も終わりを迎えました。九州北部豪雨以来、「防災と男女共同参画」をテーマに出前講座・元気塾・風おこしフォーラムと開催してきました。

また色々な講座で話をする機会があったり防災関連のヒアリングを求められたりと、それは私たちならではの復興に向けた取り組みの表れでもありました。一方、最近よく見聞きするSDGs(持続可能な17の開発目標)。未だ復旧さえも進んでいない状況ながら、並行して復興に未来に向けた取り組みが必要とされています。私たちに委ねられているのは一人ひとりの行動です。

誰一人取り残さないすべての人の幸せな未来に向けて。

(星野 洋子)